

11月の野菜の見通し

品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
はくさい	12,727	100	12,911	35	129	49	1	0.0	茨城産中心で全体の約8割を占める。茨城は8月の高温、干ばつの影響による定植の遅れがあったものの、その後の降雨により回復し、概ね生育は順調である。結球部の肥大が良く、大玉となっている。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に上回るものの平年よりは低くなる見込み。
だいこん	12,415	102	12,357	58	103	69	108	0.9	千葉、神奈川産中心で全体の約8割を占める。千葉は定植期の干ばつにより初期生育が遅れたものの、現在は生育が回復し、根部の太りも順調。神奈川は病害虫の発生も少なく、生育は概ね順調。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。
キャベツ類	13,459	100	12,573	61	90	83	-	-	千葉、愛知、茨城産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉は定植期の高温、干ばつの影響により生育が遅れていたものの、9月の降雨により生育が回復している。愛知は全体的に作柄は良好。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
ねぎ	5,991	98	5,797	171	140	252	541	9.0	青森、秋田、新潟、茨城、山形産中心の入荷となる。主力の東北産は概ね生育は順調であるが、干ばつの影響により細いものの割合が多くなっている。関東産は生育が遅れ気味に推移しており、入荷量が増加するのは下旬からとなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に上回るものの平年より低くなる見込み。
きゅうり	4,798	97	4,696	359	92	373	12	0.3	埼玉、群馬、宮崎、千葉産中心の入荷となる。埼玉は高温の影響により一部で奇形果の発生が見られたものの、気温の低下とともに生育が回復してきている。宮崎は生育順調で、着果も良好である。群馬、千葉は一部で病害虫の発生が見られるが、生育は概ね順調。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。
トマト	5,088	100	5,022	411	97	390	-	-	熊本、千葉、愛知、茨城産中心の入荷となる。熊本は着果が良好で、果実肥大も順調である。千葉は高温、乾燥の影響により一部に着果不良が見られたが、気温の低下とともに生育は回復している。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。
ほうれんそう	1,938	95	1,836	253	138	375	-	-	群馬、埼玉、千葉、茨城産中心の入荷となる。各産地とも高温、干ばつの影響による発芽不良や生育遅延が一部で見られる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回るものの平年よりは低くなる見込み。